

大阪市立 喜連西 小学校



住所 〒547-0026 大阪市平野区喜連西 3-17-61

連絡先 ☎ 06-6702-1056 ☎ 06-6797-5072

校長 千葉 法幸

開校 昭和 41 年

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e751729>



教育目標

大人も子どもも共に学び共に育つ
喜連西小学校

めざす大人の姿

- 自分からチャレンジする大人
- 自分で考えて、行動する大人
- 自分も人も大切にできる大人

めざす子どもの姿

- 自分の学校を自慢できる子
- 自分も周りの人も大切にできる子
- 仲間と一緒に考える楽しさを味わえる子

運営に関する計画

【概要】

平成30年度より大阪教育大学教職大学院との連携研究『エビデンスベースの学校改革』を実践し、「3つの喜連西愛」として児童の行動目標を設定し、教職員全員が共通理解して学業支援と行動支援（スクールワイドPBS）を行っている。児童が安心して成長できる安全な社会（学校・家庭・地域）が定着できるようにする。また、子どもが自分から進んで取り組んだり、友だちと一緒に力を合わせたり、自分なりに考えたりして楽しさを感じられるように取り組んでいく。

【中期目標】

【安全・安心な教育の推進】

- 令和11年度の全国学力・学習状況調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。
- 令和11年度の全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上(1)】

- 令和11年度の全国学力・学習状況調査における国語科・算数科の平均正答率の対全国比を、1.00にする。
- 令和11年度の全国学力・学習状況調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広めたりすることができている」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上(2)】

- 令和11年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的に答える児童の割合を90%以上にする。
- 令和11年度の全国学力・学習状況調査における規則正しい生活（「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」）に対して、大切だと肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和11年度末の小学校経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度利用しましたか」に対して、「週3回以上」と答える児童の割合を75%以上にする。

【年度目標】

- 本年度の校内調査（児童）における「学校に行くのは楽しい」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。
- 本年度の校内調査（児童）における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 本年度の校内調査（児童）における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- 本年度の校内調査（児童）における「学ぶことが楽しい」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。
- 本年度の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好き」に肯定的に答える児童の割合を85.5%以上にする。
- 本年度の校内調査（児童）における「朝食を食べていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 本年度の校内調査（児童）における「給食を残さないように食べている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。
- 本年度の校内調査（児童）における「授業で学習者用端末をどの程度利用しましたか」に対して、「週3回以上」と答える児童の割合を75%以上にする。
- 本年度の「ひらちゃん読書ノート」目標達成者人数を75人以上にする。

校長先生からのメッセージ

本校は、昭和41年11月（1966年）に開校した平野区の中西部に位置する、子どもを愛情深く育てる歴史と伝統のある小学校です。

子どもたちは、明るく活発で元気いっぱいの喜連西っ子です。

本校の学校教育目標は「大人も子どもも共に学び共に育つ喜連西小学校」です。

子どもたちはもちろん、教職員も、そして保護者の皆様も「共に学び合える」「共に育ち合える」学びの共同体づくりに努めていきたいと考えています。そして子どもたちが将来、仲間とともに「生き抜く」社会ではなく、仲間とともに「生き合う」社会を創造する礎を培っていききたいと考えています。

校長 千葉 法幸

R7年度「全国学力・学習状況調査」

	国語	算数	理科
平均正答率 本校（大阪市 全国）	58%（65% 66.8%）	46%（58% 58%）	49%（55% 57.1%）

●結果と概要／

【国語科】平均正答率は、昨年度より3ポイント低く、対全国比においては8.8ポイント低いという結果となった。「A話すこと・聞くこと」に関しては、対全国比が5.9ポイント低く、「自分の意見を相手にわかりやすく伝えること」に課題があることがわかった。「B書くこと」に関しては10ポイント低く、「書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる」に課題があることがわかった。また、「図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる」については全国・大阪市平均と同水準であることがわかった。「C読むこと」に関しては10.5ポイント低く、特に「読みの力」が低いことがわかった。

【算数科】平均正答率は、昨年度より15ポイント低く、対全国比では、12ポイント低い結果となった。また、各領域においては、「A数と計算」が11.8ポイント、「B図形」が9.2ポイント、「C測定」が21.7ポイント、「C変化と関係」が11.6ポイント、「Dデータの活用」が12.3ポイント低い結果となった。全領域において全国平均より低く、基礎学力の向上が課題であることがわかった。

【理科】平均正答率は、対全国比で8.1ポイント低く、対大阪市でも6ポイント低い結果となった。また、全領域において全国・大阪市平均に及ばなかった。基礎学力の向上が課題であることがわかった。

●取組の成果と課題／

「自分には、よいところがあると思いますか。」の質問に対する肯定的な回答は、全国・大阪市平均と同水準である。また、「将来の夢や目標を持っていますか」の質問に対する肯定的な回答は全国・大阪市平均を上回っており、自己肯定感の高さがみられる。継続して取り組んでいる「スクールワイドPBS」を中心とした取組が、児童の自己肯定感や自己有用感の向上につながっていると考える。今後も児童同士の関わり合いの場面を多く設定しながら、楽しい学校づくりをめざしていき、学力向上につなげる。

R7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	合計 得点(点)
男子	16.54	20.96	31.42	40.79	53.00	9.74	146.29	20.63	52.33
女子	16.77	21.20	36.04	38.84	44.96	9.76	142.56	13.80	55.75

●結果と概要／

体力合計点を大阪市平均と比較すると、男子が0.69ポイント下回り、女子が1.78ポイント上回る結果となった。令和6年度と比較して男子は1.00ポイント、女子は1.43ポイント上昇している。種目別では男女共に、握力、上体起こし、20mシャトルランが全国及び大阪市平均を上回っている。男子は、特に長座体前屈が低く、また立ち幅とびやソフトボール投げが、昨年度と同様に課題であることがわかった。一方、女子は、長座体前屈に課題があり、50m走が少し下回っているが、そのほかの種目については全国・大阪市平均を上回っており良好な結果となった。

●取組の成果と課題／

「運動やスポーツをすることは好きですか」という質問に、肯定的に答える児童の割合は女子が8割弱と少し低いが、男子は9割以上を占めており、運動やスポーツに対する意欲は高い。本校では、学習意欲の向上と集団づくりをめあてとした体育科学学習や、なわとび週間などの運動習慣を目的とした取り組みをしており、そのことが「体育の授業は楽しいですか」の項目に対する肯定的な意見にもつながったと考える。また、体を動かすことの重要性を理解している児童も多い。「できなかったことが、できるようになったとき」に「楽しい」と感じる児童が多く、今後も、集団の中で協働し、意欲的に学習を楽しみながら取り組むことができる体育科学学習や、発達段階に応じた目標をもって運動に取り組んだり、自身を振り返ったりする授業づくりをしていく。

学校の特徴

『エビデンススペースの学校改革』

平成30年度から、大阪教育大学教職大学院と連携し本校で取り組みを進めている『エビデンススペースの学校改革』は、最新のエビデンスとして、数々の教育的効果が科学的に実証されています。具体的な効果として、「学校生活における問題行動の減少」「学校内の安全面の向上」「いじめの減少」「学力の向上」等があります。

喜連西小学校においても、児童アンケート・保護者アンケートとともに肯定的な回答の校内平均が、平成30年度より向上してきています。

今後も、「3つの喜連西愛」の児童行動目標を教職員で共通理解し、3つの愛があふれる学校をめざしていきます。



たてわり班活動

児童が安心して過ごすことができることをめざした取り組みの1つにたてわり班活動があります。1年生～6年生まで、10名ほどが1つのグループとなり、年間を通して活動しています。



各班でお店を出す、喜連西フェスティバルや、たてわり班で力を合わせて課題に取り組む、喜連西レクリエーションは、児童のみなさんが楽しみにしている児童会の活動です。

主な学校行事「運動会」「作品展」

10月には運動会があります。学年に応じたかわいい演技や力強い演技、かけっこやリレーを行います。



12月には、個人懇談会に合わせて作品展があります。年間を通して、それぞれが工夫して作り上げた立体作品と絵画作品を展示します。

「林間学習」「修学旅行」

6年生では、淡路島へ修学旅行に行きます。阪神淡路大震災について学んだり、淡路島の自然を満喫したりします。



5年生では、鉢伏高原へ林間学習に行きます。飯盒炊爨・キャンプファイヤーなど、自然の中で友達と多くのことを学びます。